

ゴールジャッジ、シュートカウントの注意点

【試合前練習時】

ゴールランプ（赤ランプ）が点灯することを確認する。

（ランプが点灯しない場合は、電源コードが抜けていないか確認する）

【ピリオド開始時】

レフェリーが自分に向かって手を上げたら、手を上げる。（または赤旗を振る）

（レフェリーの動作を見逃さないよう注意）

【試合中】

バックがゴールラインを完全に越えたらボタンを押して点灯させる。タイムキーパーがホイッスルより早く止めた場合など、ボタンを押してもゴールランプが点灯しない場合は赤旗を振って代用する。（ボタンを再度押すと消灯する。消灯し忘れないように注意）

社会人リーグではシュートカウントも行うため、下記方針に従いシュートをカウントする。

- ・ 枠内のシュートをカウントする。
- ・ 枠（クロスバーやポスト）に直接当たったシュートはカウントしない。
- ・ ゴールキーパーごとにカウントする必要があるので、キーパーが変わった際は見逃さないよう要注意。ゴールキーパーが交代したらシュート表の2段目に記載する。

ピリオドが終了したら直ちにアナウンサーとスコアキーパーに**合計シュート数のみ**を伝達する。（セーブ○本、ゴール○本など内訳ではなく、合計シュート数のみでよい）

もう1名のゴールジャッジとシュート表を交換し、同じ方向のボックスに戻る。

（1試合を通して同じボックスに入る）